



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月9日

上場会社名 株式会社 松風

上場取引所 東

コード番号 7979 URL <http://www.shofu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 根来 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 財務担当 兼 財務部長 (氏名) 梅田 隆宏

TEL 075-561-1112

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,748	9.5	1,697	11.7	1,790	1.4	1,146	3.6
2020年3月期第3四半期	19,602	6.3	1,921	45.2	1,814	42.8	1,188	33.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,673百万円 (6.9%) 2020年3月期第3四半期 1,565百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	66.40	66.08
2020年3月期第3四半期	74.63	74.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	35,143	28,254	79.9	1,581.48
2020年3月期	29,834	23,936	79.7	1,491.81

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 28,089百万円 2020年3月期 23,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		10.00		16.00	26.00
2021年3月期		8.00			
2021年3月期(予想)				10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,287	10.8	1,733	21.6	1,589	20.1	1,072	52.1	61.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) SHOFU Products Vietnam Co.,Ltd. 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	17,894,089 株	2020年3月期	16,114,089 株
2021年3月期3Q	132,542 株	2020年3月期	169,076 株
2021年3月期3Q	17,261,479 株	2020年3月期3Q	15,928,947 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があることをお含みおき下さい。業績予想に関連する事項については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う主要都市の封鎖や外出禁止令などにより、経済活動が大きく制限され、その後の各政府の財政政策などにより回復軌道に戻りつつありますが、感染症の収束の目途が立たないなか、景気の先行きは不透明な状況となっております。国内経済についても、個人消費や企業収益が大幅に悪化した後、経済活動の再開に伴い持ち直しの動きもみられますが、感染症の再拡大が深刻化しており、景気悪化への懸念が払拭できない状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、三井化学株式会社(以下「三井化学」といいます。)及びその子会社であるサンメディカル株式会社(以下「サンメディカル」といいます。)との間で締結していた歯科材料事業に関する業務・資本提携の更なる強化を図るため、三井化学と新たな資本業務提携契約を締結しました。

これに併せて当社は、三井化学に対して第三者割当により新株式の発行を行い、三井化学が当社の発行済株式総数の20%を保有することになり、当社は三井化学の持分法適用会社となりました。また、三井化学からサンメディカルの株式(発行済株式総数の20%)を相対取引により取得し、サンメディカルを持分法適用会社といたしました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により、17,748百万円と前年同期比1,853百万円(9.5%)の減収となりました。売上高に含まれる海外売上高は、7,598百万円(対売上高42.8%)と前年同期比1,031百万円(12.0%)の減収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が減少したものの、1,697百万円と前年同期比224百万円(11.7%)の減益となりました。

経常利益は、新型コロナウイルス感染症にかかる助成金収入を営業外収益に計上したことなどにより、減益幅は縮小したものの、1,790百万円と前年同期比24百万円(1.4%)の減益となりました。

特別損失として在外子会社における送金詐欺損失101百万円を計上した結果、税金費用を差し引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,146百万円と前年同期比42百万円(3.6%)の減益となりました。

(デンタル関連事業)

国内では、前期に市場投入したデジタル口腔撮影装置「アイスペシャル C-IV」や、歯科切削加工用レジン材料「松風ブロックHC スーパーハード」などが売上に寄与しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により歯科診療の受診機会が減少し、また販売活動が制限されたことにより、前年同期比減収となりました。海外では、新型コロナウイルス感染症の影響がより大きく、各地域で低調に推移し、さらに為替の影響もあり、前年同期比減収となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、16,005百万円と前年同期比1,778百万円(10.0%)の減収となり、営業利益は1,531百万円と前年同期比304百万円(16.6%)の減益となりました。

(ネイル関連事業)

国内では、新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅で使えるジェルネイル製品「by Nail Labo」が売上を伸ばしましたが、ネイルサロンの一時休業に加え、主要展示会の中止などによりプロネイリスト向けの製品が低調となり、前年同期比減収となりました。海外では、米国においてSNSでの積極的なプロモーション活動によりWEBでの販売が好調に推移し、台湾においても主力であるジェルネイル製品「L・E・D Gel Presto」が売上を牽引し、前年同期比増収となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,686百万円と前年同期比65百万円(3.8%)の減収となりましたが、販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は160百万円と前年同期比89百万円(126.8%)の増益となりました。

(その他の事業)

当社グループの株式会社松風プロダクツ京都において、歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を製造販売しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は、56百万円と前年同期比9百万円(14.5%)の減収となり、営業利益は0.9百万円と前年同期比9百万円(90.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5,309百万円増加し、35,143百万円となりました。サンメディカル株式取得に伴う投資有価証券の増加が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ991百万円増加し、6,889百万円となりました。長期借入金の増加が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,317百万円増加し、28,254百万円となりました。第三者割当による新株式の発行に伴う資本金及び資本剰余金の増加が主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.2ポイント上昇し、79.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年10月28日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,862	6,068
受取手形及び売掛金	3,187	2,840
有価証券	5	5
商品及び製品	4,713	4,912
仕掛品	1,045	1,268
原材料及び貯蔵品	972	1,010
その他	646	610
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	15,416	16,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,692	9,318
減価償却累計額	△5,575	△5,667
建物及び構築物（純額）	3,116	3,651
その他	11,195	11,162
減価償却累計額	△6,623	△6,899
その他（純額）	4,572	4,263
有形固定資産合計	7,689	7,914
無形固定資産	310	376
投資その他の資産		
投資有価証券	5,648	9,200
退職給付に係る資産	361	357
その他	418	607
貸倒引当金	△10	△11
投資その他の資産合計	6,417	10,154
固定資産合計	14,417	18,444
資産合計	29,834	35,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	831	799
短期借入金	433	90
1年内返済予定の長期借入金	125	325
未払法人税等	202	304
役員賞与引当金	50	40
その他	2,037	1,933
流動負債合計	3,680	3,493
固定負債		
長期借入金	678	1,520
退職給付に係る負債	236	242
その他	1,302	1,633
固定負債合計	2,216	3,396
負債合計	5,897	6,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,474	5,968
資本剰余金	4,586	6,097
利益剰余金	12,840	13,588
自己株式	△185	△145
株主資本合計	21,715	25,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,465	2,935
為替換算調整勘定	△495	△439
退職給付に係る調整累計額	100	83
その他の包括利益累計額合計	2,071	2,579
新株予約権	116	116
非支配株主持分	33	48
純資産合計	23,936	28,254
負債純資産合計	29,834	35,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	19,602	17,748
売上原価	8,427	7,941
売上総利益	11,174	9,806
販売費及び一般管理費	9,253	8,109
営業利益	1,921	1,697
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	99	89
会費収入	85	49
為替差益	-	45
助成金収入	-	175
その他	72	91
営業外収益合計	268	462
営業外費用		
支払利息	6	7
売上割引	131	121
当社主催会費用	115	84
株式交付費	-	98
持分法による投資損失	-	12
為替差損	71	-
その他	49	44
営業外費用合計	375	369
経常利益	1,814	1,790
特別損失		
在外子会社における送金詐欺損失	-	101
特別損失合計	-	101
税金等調整前四半期純利益	1,814	1,689
法人税等	615	524
四半期純利益	1,198	1,164
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,188	1,146

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,198	1,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	579	469
為替換算調整勘定	△181	57
退職給付に係る調整額	△31	△17
その他の包括利益合計	366	509
四半期包括利益	1,565	1,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,554	1,654
非支配株主に係る四半期包括利益	10	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月14日付で三井化学株式会社との間で資本業務提携契約を締結しました。これにより2020年6月15日付で、三井化学株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ1,494百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	17,783	1,752	66	19,602	—	19,602
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	4	4	△4	—
計	17,783	1,752	70	19,606	△4	19,602
セグメント利益	1,835	70	10	1,916	4	1,921

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売 上 高						
(1) 外部顧客への売上高	16,005	1,686	56	17,748	—	17,748
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	—	3	3	△3	—
計	16,005	1,686	59	17,751	△3	17,748
セグメント利益	1,531	160	0	1,692	4	1,697

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。